

## ニーダーザクセン州概況

2018年3月

在ハンブルク日本国総領事館

### 1. 基礎データ

- (1) 面積：4万7,616 k m<sup>2</sup>
- (2) 人口：792万人（2015年12月現在）
- (3) 州都：ハノーファー
- (4) 内政：

ア 州首相：シュテファン・ヴァイル（SPD）（2013年2月～。現在2期目）

イ 政権：SPD／CDU連立（大連立）

ウ 議会：計137議席

SPD（55議席）、CDU（50議席）、緑の党（12議席）、  
FDP（11議席）AfD（9議席）

エ 前回州議会選挙結果（2017年10月実施）：

SPD（36.9%）、CDU（33.6%）、緑の党（8.7%）、FDP（7.5%）、AfD（6.2%）、  
左派党（4.6%）、海賊党（0.2%）、その他（2.3%）

オ 概要：

- (ア) 2017年8月、トゥエステン州議会議員が緑の党を離党しCDUへ入党したことにより、SPD／緑の党連立が議席過半数を喪失し同年10月に州議会選挙が前倒しで実施された。
- (イ) SPDとCDUの支持率が拮抗した州議会選挙では、ヴァイル筆頭候補率いるSPDがCDUに約3%の差をつけ19年ぶりに第一党となった。同年11月、SPDのヴァイル筆頭候補が州首相に選出されるとともにSPD、CDUからなる大連立が成立した。ヴァイル（SPD）州首相は現在2期目を務め、安定した政権を運営している。次回州議会選挙は2022年秋に予定されている。
- (ウ) 現政権は、教育・社会分野への投資（具体的には学校の教員増、全日制保育所の料金撤廃、警察官の増員等）を推進している。
- (エ) 州内政においては、独国内の放射性廃棄物の最終処分地として、長年に渡り放射性廃棄物の中間貯蔵施設のあるゴアレーベン（州北東に位置）が最有力候補地とされ、地質調査等が行われてきたが、極度に政治問題化したため、2015年7月に連邦法により「2016年から独国内で新たな候補地を選定・比較し、2031年までに最終処分地を決定すること」が定められ、ゴアレーベンの中間貯蔵施設への放射性廃棄物の移管や地質調査等が全面的に停止された。



(オ) その他の州内政上の問題としては、排気ガス規制を不正操作した VW の米における罰金及び損害賠償支払い問題、学校改革（総合制学校の増加）に伴う問題、すべての領域における支出が増大している問題等が挙げられる。

(5) 経済（統計値は 2016 年）

- ア 国内総生産：2640 億ユーロ（成長率：+2,9%、全独中シェア：8,4%）
- イ 主要産業：自動車、農業、食品、石油・天然ガス採掘、化学、風力発電、観光、保険、医療技術、鉄鋼等。
- ウ 州都ハノーファーは、ハノーファー・メッセ（国際産業技術見本市）および Cebit（情報通信見本市）の開催地としても有名。「CeBIT2017」のパートナー国は日本となり、2017 年 3 月、安倍総理大臣がオープニングに出席した。
- エ 州の輸出額は 852.4 億ユーロ、輸入額は 791.3 億ユーロ。

2. 日本との関係

(1) 領事関係

- ア 在留邦人数：1,638 人（2016 年 10 月現在）
- イ ハノーファー市やブラウンシュヴァイク市で、州政府や日系企業関係者等の協力により日本語授業が行われている。州政府は学校教育の一環として国際家庭の母国語教育のために出身国授業を行っており、1987 年以来日本語による出身国授業がハノーファー市で行われている。（2015 年に一旦廃止されたが、2016 年に再開）。

(2) 経済関係

- ア 主要日系企業：コニカミノルタ、コマツ、リコーなど計 26 社（2016 年 10 月現在）。同州ヴォルフスブルク市が VW 社の拠点となっていることから、自動車関連企業も多い。
- イ 同州経済省と日系企業との間では、1996 年以来、年 2 回「白馬会」と呼ばれる定期会合が持たれており州経済大臣等が参加。なお、2018 年度より年 1 回（新年会）のみの開催。日系企業側から州政府に対して、州経済政策、投資環境の改善等につき直接話し合う機会となっている。
- ウ 対日輸出：1200 百万ユーロ、対日輸入：900 百万ユーロ（2016 年）

(3) 文化関係

ア 姉妹都市・協力関係：

- (ア) ニーダーザクセン州・徳島県（2007 年 9 月協力関係提携）：経済、文化、教育、スポーツなどにおける交流強化を目指し、飯泉知事及びヴルフ州首相（当時）により共同宣言が調印された。具体的なパートナーシップの第一歩として 2008 年のハノーファー・メッセのオープニングで徳島県の阿波踊りが披露された（副知事一行が来訪）。提携 5 周年となった 2012 年 9 月にも副知事一行が来訪し、経済交流強化をテーマとするセミナー等に参加した。提携 10 周年となった

2017年4月には、飯泉知事一行が来訪しハノーファー・メッセに出席し、5月にはヴァイル州首相が徳島県を訪問し、板東俘虜収容所関連資料のユネスコ「世界記憶遺産」共同申請協定書に調印した。

- (イ) ハノーファー市・広島市(1983年6月提携):両市の間で青少年交流を実施(1968年に初めて広島市より青少年グループがハノーファー市を訪問。これまで1,500名以上が相互訪問)。また、2008年のハノーファー・メッセの際には広島市が文化人等を派遣。更に、ハノーファー市長は広島市・長崎市が主導する平和市長会議副会長として参加。2013年5月には姉妹都市関係30周年を記念して松井市長一行がハノーファー市を訪問。戦後70年となった2015年8月には、ハノーファー新市庁舎で広島への原爆投下に関する展示会が開催された。また、広島における戦後70年追悼記念式典にシュストック・ハノーファー市長が出席。
- (ウ) ヴォルフスブルク市・豊橋市(愛知県)(2011年10月友好関係締結):ヴォルフスブルクに本社を構えるVWが90年代に豊橋市に日本法人を設立したことが契機となり、以後経済ミッションの相互訪問等の実績あり。
- (エ) リューネブルク市・鳴門市(徳島県)(1974年4月提携):鳴門市内には「ドイツ館」(注:第一次世界大戦中のドイツ兵との交流等に関する資料館を兼ねた記念館)が設立されている。また、両市市民は隔年毎に相互訪問を行っている。2018年は鳴門市のドイツ兵により第九が演奏され、第九が日本に伝えられた100周年の年であり、これを記念して2017年3月にはリューネブルク市で記念コンサートが実施された。2018年6月には鳴門市における記念コンサートも計画されている。
- (オ) ハールブルク郡ヴィンゼン市・福井県(1999年10月提携):「青年の船」、「婦人の船」等のスキームで市民交流が続いている。

イ 独日協会(計7協会):

ハノーバー・広島友好会、ハノーバー独日協会(茶道会)、リューネブルク独日協会、ブラウンシュヴァイク・パイネ・ヴォルフスブルク独日協会、オルデンブルク独日協会、オスナブリュック独日協会、ヴィンゼン・ルーエ独日協会

ウ 日本研究・大学交流:

- (ア) ゲッティゲン大学(日本学科は2005年春に廃止)は、東北大学と交流(2004年交流協定締結)。
- (イ) オルデンブルク大学は法政大学と交流があり、定期的に学生が短期留学する等の交流を深めている。
- (ウ) オスナブリュック大学社会学部には日本研究センターが設置されており、中央大学、広島大学、一橋大学及び東京大学と学生・研究生交流を行っている。

#### (4) 要人往来

- 2005年 6月 ヴルフ州首相訪日  
(愛知万博視察, 政府要人(官房長官, 外務副大臣他)及び日独友好議  
との意見交換, ジェトロ訪問, 鳴門市・大阪市訪問等)
- 2007年 4月 渡辺経産副大臣ニーダーザクセン州訪問(ハノーファーメッセ・パー  
トナー国引き継ぎ式典出席)
- 5月 ヒルヒェ州経済大臣率いる経済ミッション(約30名)訪日  
(東京, 愛知, 徳島, 大阪)
- 9月 飯泉徳島県知事一行ニーダーザクセン州訪問(徳島県・ニーダーザクセ  
ン州共同宣言調印)
- 2008年 3月 ハーゲベリング州首相府長官(外務省による招聘)
- 4月 安倍元総理, 中野経産副大臣, 木村徳島県副知事ニーダーザクセン州訪  
問(ハノーファー・メッセ開幕式出席)
- 2009年 3月 ヴルフ州首相訪日  
(徳島, 大阪, 愛知, 東京を視察し, サンヨー工場やVW本社訪問, 江田五  
月参議院議長, 中曽根外相(当時), 岡田克也民主党幹事長(当時),  
白川日銀総裁(当時), 林JETRO理事長(当時)等と会見。  
明治神宮を参拝)
- 10月 西川福井県知事がヴィンゼン市を訪問
- 2012年 9月 齋藤徳島県副知事一行ニーダーザクセン州訪問
- 2014年 7月 オーニィ州首相府次官, ベーリング州経済省次官訪日
- 2016年 10月 ヴァイル州首相訪日(主にCeBIT 2017の広報のため)
- 2017年 3月 安倍総理ハノーファー訪問(CeBIT 2017に出席)
- 4月 飯泉徳島県知事ハノーファー訪問  
(ニーダーザクセン州・徳島県交流提携10周年)
- 5月 ヴァイル州首相訪日  
(徳島県・板東俘虜収容所関連資料のユネスコ「世界記憶遺産」に共同  
申請することを発表)
- 2018年 2月 オーニィ連邦・EU担当大臣徳島県訪問  
(第九百周年記念コンサート)  
(このほか, 自治体レベルでは2005年以降に独側よりヴォルフスブルクや  
ブラウンシュヴァイク, リューネブルク, ハノーファーの市長がそれぞ  
れ訪日, 日本側より佐原豊橋市長がヴォルフスブルク市を累次訪問して  
きている。)

(了)